

第3部会(第1・2回) 意見対応表(案)

素案修正箇所は赤字

No.	全体会 ／部会	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
1	第3部会	全般	総合計画全体として、若者がこのまちに残りたいと思えるよう、若者にとって魅力的なまちになるというメッセージを打ち出せると、他の施策も生きてくると思われる。意識的にキーワードを盛り込むなど、子どもや若者に向けた施策をよりわかりやすく見せられると良いのではないか。	ご意見のとおり、子どもや若者を大切にしながら施策を推進することは、特定の分野だけでなく、全ての分野において重視すべきと考えており、「政策・施策を推進する5つの視点」の視点2において、新潟の将来を担う世代の思いを大切にすることを右のとおり記載しています。 また、重点戦略1「都市機能の充実と拠点性の向上」において、若者世代から、夢や希望を実現できる都市として選ばれるよう、様々な戦略を総合的に展開していくことの重要性について、右のとおり記載しています。 なお、今後作成を予定する総合計画の「概要版」については、多くの市民の目に触れられることを想定し、より簡潔で分かりやすいものになるよう検討していきますが、その中でも上記のような考えについてもより伝わりやすくなるよう表現等について工夫していきます。	P68 政策・施策を推進する5つの視点 視点2 新潟の将来を担う世代の思いを大切に 「現在世代だけでなく、将来世代まで心豊かに暮らし続けられるまちを築くため、子どもや若者など新潟の将来を担う世代を大切にするとともに、これから生まれてくる子どもたちにも思いを巡らせながら、施策を推進します。」 P73 重点戦略1 戦略展開の方向 「新潟市が人口減少時代に躍進するためには、「学べる」、「自分らしく働ける」、「遊べる」、「楽しめる」、「刺激がある」といった人々を惹きつける都市の魅力を高め、現在世代のみならず将来を担う世代から夢や希望を実現できる都市として選ばれるよう、様々な戦略を総合的に展開していくことが重要です。」
2	第3部会	重点戦略6 政策7 福祉	政策目標として「共生社会」の実現を上位目標とするのか、「地域共生社会」の実現を上位目標とするのか整理すると良いのではないか。	「共生社会」は性別や年齢、障がいなど、人それぞれの違いを自然に受け入れ、互いに認め合う社会のことです。 一方、「地域共生社会」は、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手・受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会のことです。 計画の中では、どちらが「上位・下位」ということではなく、それぞれの考え方にに基づき使用しています。 しかしながら、「共生社会」という言葉は、「障がいのある人もない人も共生する」という文脈で使われることが多く、読み手によっては「障がいへの理解」に特化したイメージを持つ可能性があります。 重点戦略6においては、障がいだけでなく、性別や年齢のほか、少数派とされる方々も含め、誰もが個性と能力を發揮しながら心豊かに暮らせる社会を実現するための施策を示すものであることから、右のとおり表現を修正します。	P85 重点戦略6「誰もが個性と能力を發揮しながら、心豊かに暮らせる 社会 の実現」 戦略展開の方向 「市民の笑顔があふれ、ふれあいと活力のある地域で、誰もが自分らしく個性と能力を發揮しながら、心豊かに暮らせる 社会 を実現していきます。」
3	第3部会	重点戦略6 政策6 健康・福祉	生活習慣病への対応だけでは健康寿命は延伸しないと思われるため、他の要素についても触れるなど表現を工夫すると良いのではないか。	政策6の「新潟市の現状/将来を見据えた課題」に記載のとおり、本市は全国と比べて脳血管疾患で亡くなる人の割合が高く、中でも脳梗塞が原因となっている割合が高いことから、その原因となる生活習慣病の予防と早期発見が重要と考えています。 こうした本市の傾向を踏まえ、生活習慣病への対応は本市の重要課題と捉えています。ご意見のとおり、健康寿命の延伸は生活習慣病への対応のみではなく、フレイルや認知症の予防、歯と口やこころの健康といった一人一人の健康づくりが基本となることから、右のとおり表現を修正します。	P85 重点戦略6 戦略展開の方向 「いつまでも元気でいきいきと暮らせるよう、 生活習慣病の予防をはじめ、市民一人一人の健康づくりを推進し 、健康寿命の延伸を促進します。」 P137 政策6 健康・保健 基本的方向 「 生活習慣病の予防をはじめ、市民一人一人の健康づくりを推進し 、健康寿命の延伸を促進します。」
4	第3部会	重点戦略6 政策1 市民活躍 政策7 福祉	LGBTについて、新潟市は先行してパートナーシップ宣誓制度を導入しており、そういう方々が胸を張って活動しているというのはいよいことだと思われることから、いろいろな形の家を認めたり尊重することが計画の中でわかるようにすると良いのではないか。	第1部会が所管する、政策1市民活躍の内容にも関連する意見であるため、対応案について検討中です。	-

第3部会(第1・2回) 意見対応表(案)

素案修正箇所は赤字

No.	全体会 ／部会	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
5	第3部会	重点戦略6	「子どもから高齢者まで…」という言葉は、子どもと高齢者に意識が向き20代から50代くらいまでの当事者感覚が薄くなってしまうことがあるため、「誰もが」を加えるなど表現を工夫すると良いのではないかと。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P87 重点戦略6 および P121 政策3 施策1 生涯スポーツ社会の実現 ①誰もが参加できるスポーツの機会創出 「子どもから高齢者、障がい者まで、 誰もが 生涯にわたって、スポーツ・レクリエーションを通じて、健康で豊かな生活を営むことができる取組を推進します。」
6	第3部会	重点戦略6	重点戦略6について、戦略展開の方向や具体的な施策の内容と政策指標の整合性を図ると良いのではないかと。	重点戦略6の内容は高齢者に限ったものではありませんが、社会全体で少子・高齢化が進み、また、誰もが年を重ねていくなかで、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせることはとりわけ重要であると考えていることから、「住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができると思う高齢者の割合」を掲げることとしました。 なお、高齢者だけでなく、性別、障がいの有無、国籍の違いや、少数派とされる方々を含めた人権を尊重することについても重要であると考えていることから、政策1「誰もが個性と能力を発揮し活躍できるまちづくりの推進」において、右の政策指標を掲げています。	P113 政策1 政策指標 「社会全体における男女の地位が平等であると思う市民の割合」 「障がいを理由として差別・暮らしにくさを感じたり、いやな思いをしたことがない障がい者の割合」 「新潟市は暮らしやすいまちだと思う外国籍市民の割合」 「自分や、周りの人の人権を意識しながら、生活している市民の割合」
7	第3部会	政策4 子育て	施策1「出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援」について、出会い・結婚と妊娠・出産と一緒に書かれていることでプレッシャーに感じる人もいられると思われるため、これら一つの施策にまとめるのが適切かどうかあらためて検討すると良いのではないかと。	結婚から妊娠、出産、子育てにかけての切れ目ない支援を重視していることからこのような表現としており、新潟市だけでなく国においても同様の表現を用いています。 一方で、望まない人への配慮も必要であることを踏まえ、基本的方向及び施策1-②を右のとおり修正します。	P125 政策4 基本的方向 子どもと子育てにやさしいまちを目指し 、ライフステージに応じた切れ目ない支援により、 希望する人が安心して結婚し、子どもを生育できる ことができる新潟市をつくります。 P127 政策4 施策1 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援 ② 出会い・結婚に対する支援 ○民間事業者と連携した出会いの場の創出や、地域を挙げて結婚を応援する機運の醸成を図るなど、結婚を 望む人 の希望をかなえられる環境づくりを推進します。
8	第3部会	政策4 子育て	施策1「出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援」について、妊娠や出産には適齢期があることを、中学校や小学校高学年といった早い時期から教育することを盛り込めると良いのではないかと。	ご意見を踏まえ、小学校・中学校・高校からのライフデザイン教育の実施を念頭に、施策1-②を右のとおり修正します。	P127 政策4 施策1 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援 ② 出会い・結婚に対する支援 ○若者が 早い時期から 将来の結婚や子育てのイメージを持ち、妊娠・出産の適齢期を見据えた ライフデザイン を考えられる機会を創出します。
9	第3部会	政策4 子育て	親同士や専門職とのつながりをつくるため、子どもの権利を知るため、教育・保育施設等と保護者との良好な関係をつくるためにも、親として育ち、学ぶことができる機会を確保することを盛り込めると良いのではないかと。	ご意見を踏まえ、施策1-③について、保護者が子育てに関し正しい理解を得られるよう支援する旨を追記・修正します。 また、親として育ち、学ぶことができる機会の確保に関して、学習機会や相談体制の充実に取り組むことについて、政策5の施策2-①で右のとおり記載しています。	P127 政策4 施策1 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援 ③ 妊娠・出産・子育て期の包括的な支援 ○全ての妊産婦が安心して子どもを産み育てられるよう、新潟市の特色を活かし、 妊娠・子育て で ほっとステーション を中心に、地域の中で一人一人に寄り添った相談体制の構築を進めるほか、SNSやアプリの活用等、デジタル技術を活用し、必要な人に的確に届くよう効果的で、分かりやすい子育て情報の発信を行います。 ○ 妊娠・出産期の幸福感を高め 、希望する子どもの数を実現 できる よう、産前・産後のケアを強化し、 保護者同士や専門機関 などとのつながりを促進することで、孤独の解消と 子育てに関 する 正しい理解が深まる よう支援します。 P134 政策5 施策2 創造力と人間力あふれる市民が学び育つ生涯学習の推進 ① 家庭教育の充実と子育て支援 ○家庭での教育力の向上に向け、学校と家庭および地域と家庭の連携を推進するとともに、不安や疑問などに対応する学習機会や相談体制の充実に取り組みます。

第3部会(第1・2回) 意見対応表(案)

素案修正箇所は赤字

No.	全体会 ／部会	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
10	第3部会	政策4 子育て	1人目のところの産後のケアを丁寧にしていくことが2人目、3人目につながると考えられることから、産後ケアの充実など産前産後の支援を手厚くすることを盛り込めると良いのではないかと。	1人目の産前・産後に適切な支援を受けた経験が、2人目以降の出産に影響を与えたとご意見を踏まえ、施策1-③に産前産後のケアの強化などに関する文言を追記します。	P127 政策4 施策1 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援 ③ 妊娠・出産・子育て期の包括的な支援 ○全ての妊産婦が安心して子どもを産み育てられるよう、新潟市の特色を活かし、 妊娠・子育てほっとステーションを中心に 、地域の中で一人一人に寄り添った相談体制の構築を進めるほか、SNSやアプリの活用等、デジタル技術を活用し、必要な人に的確に届くよう効果的で、分かりやすい子育て情報の発信を行います。 ○ 妊娠・出産期の幸福感を高め 、希望する子どもの数を実現できるよう、産前・産後のケアを強化し、 保護者同士や専門機関などとのつながりを促進 することで、孤独の解消と 子育てに関する正しい理解が深まるよう 支援します。
11	第3部会	政策4 子育て	新潟市として子育て支援に力を入れていることが市民に伝わるような見せ方をしていくとともに、情報発信にあたっては、必要な人に的確に届くように、より効果的な手法に見直していくと良いのではないかと。	ご意見を踏まえ、本市の施策に係る決意が伝わるよう、基本的方向に文言を追記するとともに、施策1-③に情報発信に係る文言を追記します。	P125 政策4 基本的方向 子どもと子育てにやさしいまちを目指し 、ライフステージに応じた切れ目ない支援により、希望する人が安心して結婚し、子どもを生み育てることができる新潟市をつくります。 P127 政策4 施策1 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援 ③ 妊娠・出産・子育て期の包括的な支援 ○全ての妊産婦が安心して子どもを産み育てられるよう、新潟市の特色を活かし、 妊娠・子育てほっとステーションを中心に 、地域の中で一人一人に寄り添った相談体制の構築を進めるほか、SNSやアプリの活用等、デジタル技術を活用し、必要な人に的確に届くよう効果的で、分かりやすい子育て情報の発信を行います。
12	第3部会	政策4 子育て	子育て支援に係る機関が一体となって取組むことでより効果が高まることから、関係機関の連携を進めていくことを盛り込めると良いのではないかと。	ご意見を踏まえ、「施策3 社会全体での子育て支援」として施策を新たに設けて、地域や関係機関が連携し、社会全体で子育てを支援することについて記載します。	P129 政策4 施策3 社会全体での子育て支援 ② 地域と連携した子育て支援 ○ 医療機関や学校を含め、様々な関係機関や地域人材が有機的に連携しながら、子育てを重層的に支援 します。
13	第3部会	政策4 子育て	子育て・教育の施策を推進するうえでは、担い手の量と質が担保されることが重要であることから、施策の内容に合わせた担い手の確保や研修等を通じた質の向上を進めていくことを盛り込めると良いのではないかと。	子育て支援サービスの質を向上させるためには、担い手の確保と質の向上が重要なことから、新たに設けた施策3-③に、その旨の文言を追記します。	P129 政策4 施策3 社会全体での子育て支援 ③ 担い手の確保・育成 ○ 地域全体の多様な子育て支援サービスの質の向上と体制強化を図るため、担い手となる専門人材の確保、職員の研修や処遇改善に加え、ICT技術の活用等による働きやすい職場づくりを目指 します。
14	第3部会	政策4 子育て	労働時間の長さなど両親の働き方も子育てのしやすさに影響することから、経済分野と連携・協働しながら取り組みを進めていくことを盛り込めると良いのではないかと。	重点戦略8において、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現について記載していますが、ご意見のとおり、仕事と子育ての両立にあたっては保護者の働き方など経済分野などと連携した取組が必要であることから、新たに設けた施策3-①にその旨の文言を追記します。	P129 政策4 施策3 社会全体での子育て支援 ① 社会全体で子育てを応援する機運の醸成 ○ 仕事と子育ての両立のため、企業等への啓発や支援を進めるほか、男性の家事や育児への参画など、経済や市民生活など他の分野とも連携した取組を推進 します。

第3部会(第1・2回) 意見対応表(案)

素案修正箇所は赤字

No.	全体会 ／部会	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
15	第3部会	政策4 子育て	市民の中にも子育てを支援したいと考える方々が大勢いることから、その方々の力を活かせるようコミュニティづくりや情報提供などの支援をすることを盛り込めると良いのではないかと。	地域における子育てを支援したいと考える方々の協力のもと、地域が連携して子育て支援を進めていくため、新たに設けた施策3-②に右のとおり記載します。 また、情報提供などの支援をすることについて、政策5の施策2-①の中で、右のとおり追記します。	P129 政策4 施策3 社会全体での子育て支援 ② 地域と連携した子育て支援 ○医療機関や学校を含め、様々な関係機関や地域人材が有機的に連携しながら、子育てを重層的に支援します。 ○多様な家族形態があることを前提に、地域の様々な人や団体が、子どもと子育てで家庭への支援に参画できるよう、地域における子どもたちの見守りと情報提供を継続するとともに、ファミリー・サポート・センターによる子育て家庭への支援等を推進します。 P134 政策5 施策2 ①家庭教育の充実と子育て支援 「子育て中の保護者が安心して学習できる機会や、家庭での教育に関する情報を提供するとともに、子育ての悩みなどを共有して支え合える関係づくりを支援するなど、学びを生かす取組を促進します。」
16	第3部会	政策4 子育て	子どもは地域や社会にとっての宝物であり、子育てに対して支援することはやがて高齢者にも返ってくる未来への投資であるという意識を持ってもらうことが重要である。さまざまな家庭の形があることを前提としながら、子どもや子育て家庭を地域や社会全体で支えていくことを盛り込めるとよいのではないかと。	ご意見を踏まえ、子どもは社会の宝であり、多様な家族形態があることを前提に社会全体で子育てを応援する旨を、政策4の基本的方向、施策3-①及び②に追記します。	P125 政策4 基本的方向 一人一人の子どもの「最善の利益」と子どもの権利保障を第一に考えながら、子どもは社会の宝であるという認識のもと、地域や企業などとともに、社会全体で子育てに温かい環境を築くことにより、新鴻の将来を担う子どもたちが笑顔で健やかに育つ環境を整えていきます。 P129 政策4 施策3 社会全体での子育て支援 ① 社会全体で子育てを応援する機運の醸成 ○子どもは社会の宝であるという認識のもと、地域や民間事業者との協働により、社会全体が子育てで世代に関心を持ち、応援する機運の醸成を図ることにより、子育ての社会化(子育てに社会全体で取り組むこと)を推進します。 ② 地域と連携した子育て支援 ○多様な家族形態があることを前提に、地域の様々な人や団体が、子どもと子育てで家庭への支援に参画できるよう、地域における子どもたちの見守りを継続するとともに、ファミリー・サポート・センターによる子育て家庭への支援等を推進します。
17	第3部会	政策4 子育て	子育てををする若い世代が参加できる地域のコミュニティを築いていくことが重要であり、結婚するという形だけではなく多様な家族が、地域や社会の中でつながっていくことで、重点戦略6でいう共生社会の実現にも繋がると思われる。SNSなどを通じてそういった人たちが辿り着きやすいような環境を作るとともに、コミュニティに対する補助金などの支援やボランティアが集まるような環境を作っていくことを盛り込めるとよいのではないかと。	ご意見を踏まえ、多様な家族形態があることを前提としながら、地域が有機的に連携しながら社会全体で子育て支援を行う旨を、新たに設けた施策3-②に記載します。 また、重点戦略6の具体的な施策にも、これらの文言を追記します。	P129 政策4 施策3 社会全体での子育て支援 ② 地域と連携した子育て支援 ○医療機関や学校を含め、様々な関係機関や地域人材が有機的に連携しながら、子育てを重層的に支援します。 ○多様な家族形態があることを前提に、地域の様々な人や団体が、子どもと子育てで家庭への支援に参画できるよう、地域における子どもたちの見守りと情報提供を継続するとともに、ファミリー・サポート・センターによる子育て家庭への支援等を推進します。 P85 重点戦略6 誰もが個性と能力を発揮しながら、心豊かに暮らせる共生社会の実現 具体的な施策に上記文章を追加
18	第3部会	政策4 子育て	地域共生社会の実現に向け、子ども・子育て施策とも関連させながら重層的支援体制を構築することを盛り込めると良いのではないかと。	重層的支援体制の構築は、子育ての分野でも重要であることから、新たに設けた施策3-②に文言を追記します。 また、重点戦略6について、子育て施策とも関連させながら重層的支援体制を構築することがわかるよう追記します。	P129 政策4 施策3 社会全体での子育て支援 ② 地域と連携した子育て支援 ○医療機関や学校を含め、様々な関係機関や地域人材が有機的に連携しながら、子育てを重層的に支援します。 P85 重点戦略6 誰もが個性と能力を発揮しながら、心豊かに暮らせる共生社会の実現 戦略展開の方向 障がいや介護、子育てなどに関する様々な機関が協働し包括的に支援する重層的支援体制を構築し、いつまでも自分らしく安心して暮らせる福祉のまちを目指します。

第3部会(第1・2回) 意見対応表(案)

素案修正箇所は赤字

No.	全体会 ／部会	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
19	第3部会	政策4 子育て	新潟市は少子化対策のためにどのような政策・施策に取り組むのか、市民レベル、多様なアクターレベル、地域コミュニティレベル、行政区レベル、全市レベルでどのように重層的に取り組んでいくか、という点について新潟市独自の視点と対策の方向性を示すと良いのではないかと。	基本構想の実現に向けて、分野横断的かつ重点的に推進する施策を重点戦略として整理しています。 少子化対策に関しては、子育て支援の施策だけではなく、働きやすい職場づくりや都市の魅力高めるまちづくりなど、様々な戦略を総合的に展開していくことが重要と考えています。10の重点戦略をひとつの政策パッケージとして推進し、点ではなく面として対応していくことで、子育てにかかる経済的不安・時間的不安・精神的不安の軽減につなげていきます。 そのうえで、ご意見のとおり、市民や民間事業者など多様な主体と連携しながら重層的に進めていくことが重要と考えていますが、それぞれの重点戦略や施策ごとにその役割や取り組み方は異なることから、施策を具体化する際にそれらについても示せるよう努めていきます。	P71-96 5 重点戦略 重点戦略1 都市機能の充実と拠点性の向上 重点戦略2 地域企業の経営力強化、新たなビジネスや成長産業の創出・育成 重点戦略3 抱負な田園資源を活かした儲かる農業の実現 重点戦略4 魅力と拠点性を活かした交流人口の拡大 重点戦略5 新潟暮らしの魅力発信と多様な支援による移住・定住の促進 重点戦略6 誰もが個性と能力を発揮しながら、心豊かに暮らせる 社会 の実現 重点戦略7 子育てしやすいまちづくりとこれからの社会をたくましく生き抜く力の育成 重点戦略8 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現 重点戦略9 脱炭素・循環型社会の実現 重点戦略10 安心・安全で災害に強いまちづくり
20	第3部会	政策4 子育て	子どもの権利を守ることを全体的な考え方として持ちつつ、さまざまな家庭があるなかでも経済的理由によって子どもたちが取り残されることのないように配慮することが重要ではないかと。	子どもの権利保障については、子育て政策全般に関わる考え方であることから、基本的方向に追記するとともに、子どもの権利に関する記載は施策1の中に移します。 また、経済的理由によって子どもたちが取り残されることのないように配慮することについては、政策5の施策1-③の中で、経済的理由により就学の機会が失われることがないよう、取組を進める旨を記載しています。	P125 政策4 基本的方向 一人一人の子どもの「最善の利益」と 子どもの権利保障 を第一に考えながら、子どもは社会の宝であるという認識のもと、地域や企業などとともに、社会全体で子育てに温かい環境を築くことにより、新潟の将来を担う子どもたちが笑顔で健やかに育つ環境を整えていきます。 P127 施策1 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援 ① 子どもが有する固有の権利の保障 ○全ての子どもが豊かな子ども期を過ごすことができるよう、新潟市子ども条例の趣旨を、権利の主体である子どもたちのほか、 幅広い 市民に普及・啓発します。 ○子ども の権利 が侵害されたときに適切に対応できる支援体制や、子どもの意見を市政に反映させる取組を進めます。 P133 政策5 施策1 ③安心して学べる環境づくり 「経済的理由により就学の機会が失われることがないよう、また、誰もが安心して学習に取り組む、多様な進路選択ができるよう、教育機会の確保に向けた取組を進めます。」
21	第3部会	政策4 子育て	子ども食堂は、貧しい人たちのための場所ではなく、誰もが来てよい場所であることがわかるようにすると良いのではないかと。	多様な子どもやその家族が利用している子ども食堂の現状を踏まえ、子ども食堂に関する記載は、施策1-⑤の中に移します。	P127 施策1 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援 ⑤ 子どもが安心して過ごせる居場所づくり ○ 地域団体等が運営する子ども食堂について、地域の核として子どもを含めた多世代が交流し、安心して過ごせる居場所となるよう、必要な支援を行います。
22	第3部会	政策4 子育て	政策指標A「婚姻件数」について、これからの時代は必ずしも結婚にやらない多様な家庭の形が生まれてくると考えられるため、これを指標とするのが適切かどうかあらためて検討するとよいのではないかと。	総合指標②「合計特殊出生率」は、日本においては主に「有配偶率」と「有配偶出生率」の2つの要素で説明されます。この計画では政策指標A「婚姻件数」が前者、政策指標B「夫婦が実際にもつ予定の子どもの数」が後者に対応しており、総合指標の目標を達成するうえでは両方の視点が欠かせないと考えていることから、政策指標は素案のとおりとします。 一方で、ご意見のとおり、家族の形が多様化することを否定するものではないため、あくまでも「結婚や出産を希望する人について、その希望をかなえる」ことを目標とすることとし、希望する人に対する支援である旨を基本的方向及び施策1-②に追記するとともに、多様な家族形態がある旨を施策3-②に追記します。	P125 政策4 基本的方向 子どもと子育てにやさしいまちを目指し 、ライフステージに応じた切れ目のない支援により、 希望する人が安心して結婚し、子どもを生み育てることができる新潟市をつくります。 P127 政策4 施策1 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援 ② 出会い・結婚に対する支援 ○民間事業者と連携した出会いの場の創出や、地域を挙げて結婚を応援する機運の醸成を図るなど、 結婚を望む人 の希望をかなえられる環境づくりを推進します。 P129 政策4 施策3 社会全体での子育て支援 ② 地域と連携した子育て支援 ○ 多様な家族形態があることを前提に 、地域の様々な人や団体が、子どもと子育て家庭への支援に参画できるよう、地域における子どもたちの見守りと 情報提供 を継続するとともに、ファミリー・サポート・センターによる子育て家庭への支援等を推進します。

第3部会(第1・2回) 意見対応表(案)

素案修正箇所は赤字

No.	全体会 ／部会	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
23	第3部会	政策4 子育て	新潟市の子育て支援の取組は、民間の取組も含めて他の自治体にひけをとらないものであるにもかかわらず、有配偶出生率など子育てに関する指標が高まらない理由について、具体的にどの部分が不足しているのかを丁寧に分析すると良いのではないかと。	成果指標の設定にあたっては、右のとおり、EBPMの考え方を踏まえてデータに基づく客観的な評価検証を行うこととしており、それぞれの指標に影響を与えている要素を分析しながら、より効果的な施策を展開できるよう取り組みます。	P66 4(1)政策・施策の全体像 ②成果指標の設定 EBPM(エビデンスに基づく政策立案)の考え方を踏まえて、データに基づく客観的な評価検証を行い、総合計画を中心とした、経営資源の適正配分に向けた政策決定のプロセス強化を図ります。
24	第3部会	政策6 健康・保健	新潟市が先行して医療・介護・福祉のDXを行うことが、拠点化を進めるうえで重要だと思われる。国や県と連携しながら、さまざまな健康データの蓄積を活用した健康づくりを進めるなど、デジタル技術を活かした施策を盛り込めると良いのではないかと。	現在、同趣旨で、新潟県において「にいがた新世代ヘルスケア情報基盤プロジェクト」が進められており、県内データの集約や分析状況等について確認していきます。 なお、データを活用した健康増進の取組について、右のとおり記載します。	P139 政策6 施策1 ①全ての市民の健康づくりの推進 「 健康データ等を活用し 、地域や学校、保健・医療関係団体等との協働により、地域の健康課題解決に向けた取組を推進します。」
25	第3部会	政策6 健康・保健	施策1の「④悩みを抱える人のこころの支援」について、周りを気にして過度に悩むことのないよう、自分らしさを大切にするという視点を盛り込めると良いのではないかと。	ご意見のとおり、自分らしさを大切にすることは重要と考えています。生きづらさを抱えた方が自分らしく生きることができるよう、他の関係分野と連携しながらメンタルヘルス支援を推進することについて、右のとおり記載します。また、政策5の施策1-②において、豊かな心と健やかな身体の育成について、右のとおり記載しています。	P140 政策6 施策1 ④悩みを抱える人の心の支援 「 誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう 、市民、学校、関係機関・団体と連携・協働して、こころの健康づくりを推進するとともに、総合的な自殺対策やひきこもり支援に取り組みます。」 P133 政策5 施策1 ②豊かな心と健やかな身体の育成 「 自分を尊重する心豊かな人間性・社会性を身に付けるとともに、善悪の判断などの社会のルールを守り、自信と誇りをもって生きることができるよう力を育みます。 」 「一人一人の成長を促す生活指導に取り組み、めあてをもち、自己決定し、自主的に行動する自律性と、互いに認め合い、支え合い、高め合う社会性の育成を図ります。」 「いじめや不登校等において、予防的な指導や、悩みや問題を抱える児童生徒一人一人に対応する課題解決的な指導に、他の機関などと連携しながら組織的に取り組みます。」
26	第3部会	政策6 健康・保健	総合計画として、主観的なデータだけでなく客観的なデータも取り入れる方向性を示すと良いと思われる。政策6の政策指標のうち、市民アンケートによって測る「自分が健康だと思う市民の割合」や「新潟市の医療が充実していると思う人の割合」は、主観的な指標であるため、定量的な指標への変更や追加を検討すると良いのではないかと。	総合計画に基づき、各分野で策定する分野別計画において、健診受診率や救急搬送の受入状況のように、客観的・定量的な指標を設定してその進捗を管理していきます。	-
27	第3部会	政策6 健康・保健	生涯にわたる健康で安心な暮らしの実現を図るうえで、子どもたちが自身の健康を意識して生活していくことも重要であることから、子どもが自分の健康状態をどのように感じているかを測る指標も盛り込めると良いのではないかと。	政策指標を評価する市民アンケートは、18歳以上を対象として実施しているため、子どもの健康状態については含まれませんが、学校において、全国学力・学習状況調査及び新潟市生活・学習意識調査の中で、食生活や睡眠といった健康に関する設問をとおして、児童生徒が自らの健康状態を把握することに繋がる機会を設けるとともに、児童生徒の状況を把握しています。また、政策5の施策1-②において、豊かな心と健やかな身体の育成について、右のとおり記載しています。	P133 政策5 施策1 ②豊かな心と健やかな身体の育成 「 生涯にわたって心身共に健康に生き抜く力を育むため、自らの健康に関心をもち、健康の増進、病気の予防など、健やかに生きるための主体的な健康づくりができるよう支援するとともに、家庭と連携した食に関する指導を推進します。 」
28	第3部会	政策7 福祉	政策7の基本的方向について、「心豊かな地域共生社会」というように「心豊か」という言葉を入れると良いのではないかと。そのほかにもキーワードとして「心豊か」という言葉を積極的に使うと、新潟市は心豊かなまちを目指すことが若者などにも伝わるのではないかと。	ご意見を踏まえ、右のとおり記載します。	P141 政策7 「自分らしくいきいきと安心して 心豊かに 暮らせる地域共生社会の実現」 基本的方向 「…重層的支援体制を構築し、いつまでも自分らしく安心して 心豊かに 暮らせる福祉のまちを目指します」

第3部会(第1・2回) 意見対応表(案)

素案修正箇所は赤字

No.	全体会 ／部会	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
29	第3部会	政策7 福祉	自分たちの生活が今後どうなっていくのかというストーリー性のある説明やハートフルな言葉が盛り込まれていると、多くの人に身近に感じてもらえる計画になるのではないかと。	ご意見のとおり、本市の取り組みについて、多くの人に身近に感じていただくことは重要であると考えています。福祉の分野に限らず、各施策を実施する際に、PRの手法や表現等について検討していきます。また、今後作成を予定する総合計画の「概要版」については、多くの市民の目に触れられることを想定し、より簡潔で分かりやすいものになるよう検討します。	-
30	第3部会	政策7 福祉	「地域共生社会」の実現は、福祉分野の政策・施策だけでなく、地方創生、まちづくり、教育、労働など、地域の持続性を高める施策との密接な連携が求められることから、それらを踏まえて盛り込むと良いのではないかと。	ご意見のとおり、地域共生社会の実現には、世代や分野を超えて様々な施策との連携が必要となると考えていることから、地域コミュニティ協議会やNPO、民間企業などの多様な主体が関わる環境をつくり、様々な機関が協働し包括的に支援する重層的支援体制の構築を推進することについて、右のとおり記載しています。 また、本計画においては、分かりやすさを意識し、分野ごとに政策・施策を分けて記載をすることとしていますが、異なる分野間での連携については重視すべきと考えており、「政策・施策を推進する5つの視点」の視点4において、「部署の垣根を越えて組織横断で施策を推進」する旨を記載しています。	P141 政策7 基本的方向 「地域包括ケアシステムの理念を広げ、地域コミュニティ協議会やNPO、民間企業など身近にある多様な主体が、地域住民の抱える課題を主体的に把握し解決を試みる環境づくりや、相談を包括的に受け止め、障がいや介護などに関する様々な機関が協働し包括的に支援する重層的支援体制を構築し、いつまでも自分らしく安心して心豊かに暮らせる福祉のまちを目指します。」 P68 4 政策・施策の全体像(1)④政策・施策を推進する5つの視点 視点4 パートナーシップにより目標を達成する 「市役所全体で課題を共有し、都市像の実現に向けて部署の垣根を越えて組織横断で施策を推進します。また、市民、民間事業者、国・県・他市町村など多様な主体と連携・協働できる関係性を構築し、パートナーシップにより目標を達成します。」
31	第3部会	政策7 福祉	「地域共生社会」の実現にあたっては、支援をする側、受ける側だけではなく、市民一人一人がそれぞれの立場で参加することができる社会を作っていくことが重要である。多数派の方々だけではなく、LGBTのほかに子どもや若者、一人暮らしの高齢者などの少数派の方々であったり、なかなか今の社会の中での生きづらさを感じている方々が、自分たちもこの地域の中で暮らしていったらよいのだと実感してもらえるような社会をつくることが見えると良いのではないかと。	政策7では、少数派とされる方々も含め、全ての方が心豊かに自分らしくいきいきと安心して暮らせる地域共生社会の実現に向けた内容としています。なお、政策1「誰もが個性と能力を発揮し、活躍できるまちづくりの推進」において、「男女共同参画」や「障がいのある人への理解」、「多文化共生のまちづくり」といった取り組みを記載しています。 重点戦略6および政策7については、ご意見を踏まえて右のとおり記載します。	P85、P141 重点戦略6 戦略展開の方向 および 政策7 基本的方向 「価値観や生活様式が多様化し、様々な背景をもった方々が同じ地域で暮らす中、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と社会が世代や分野を超えてつながり、一人一人の暮らしと生きがい、地域を共に創り、誰もが役割をもって活躍できる「地域共生社会」の実現が求められています。」
32	第3部会	政策7 福祉	政策名の「生涯にわたる健康で安心な暮らし」や「自分らしくいきいきと安心して暮らせる地域共生社会」の実現を図るためには、いかに若いころから地域の中で関係性が築けるかということが重要だと思われる。子どもたちのころから地域に関わり、中高年になっても地域と接点を持ち続ける重要性を強調すると良いのではないかと。	ご意見のとおり、地域共生社会の実現には、子どものころから地域に関わり、中高年になっても地域と接点を持ち続けることが重要です。そのため世代や分野を超えて様々な施策との連携が必要となることから、庁内に限らず地域コミュニティ協議会やNPO、民間企業などの多様な主体や、様々な機関との協働により取組を推進していきます。 なお、こうした考えを踏まえ、政策7の「基本的方向」を記載しているほか、政策1市民活躍の施策1-②のなかで、子どもや若者世代の地域活動への参加を促進する旨を右のとおり記載しています。	P141 政策7 基本的方向 「価値観や生活様式が多様化し、様々な背景をもった方々が同じ地域で暮らす中、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と社会が世代や分野を超えてつながり、一人一人の暮らしと生きがい、地域を共に創り、誰もが役割をもって活躍できる「地域共生社会」の実現が求められています。」 P109 政策1 施策1 地域団体・市民団体の活動の推進 ②持続可能なコミュニティづくり 「多世代交流の視点を取り入れた活動を支援することで、子どもや若者世代の地域活動への参加を促進します。」

第3部会(第1・2回) 意見対応表(案)

素案修正箇所は赤字

No.	全体会 ／部会	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
33	第3部会	政策7 福祉	政策7について、若者に対する支援や困窮女性に対する支援の観点も盛り込むと良いのではないかと。	<p>政策7の施策3「生活に困窮する人に寄り添った自立支援」は、女性や若者を含め、困窮する全ての市民を対象とした内容としており、それぞれの事情や本人の思いに寄り添いながら、性別や年齢を含む個別の状況に応じた支援を行っていきます。</p> <p>また、複合的な問題の解決を要する機会が多い困窮女性への支援が適切に行えるよう、関係機関やNPO法人等の支援団体との連携をさらに深めていく必要があると考えており、右のとおり記載しています。</p> <p>なお、子どもや若者を大切にしながら施策を推進することは、特定の分野だけでなく、全ての分野において重視すべきと考えており、「政策・施策を推進する5つの視点」の視点2において、「新潟の将来を担う世代の思いを大切に」を右のとおり記載しています。</p>	<p>P145 政策7 施策3「生活に困窮する人に寄り添った自立支援」 ①個別の状況に応じた支援 「様々な生活上の課題を抱えた人を早期に把握し、自立相談支援機関につなげられるよう、関係機関との連携を強化します。」 「生活や就労に困難を抱えた人の社会的・経済的不安やおかれている環境を的確に把握し、それぞれの事情や本人の思いに寄り添った支援を行い、自立の促進を図ります。」</p> <p>P68 政策・施策の全体像(1)④政策・施策を推進する5つの視点 視点2 新潟の将来を担う世代の思いを大切に 「現在世代だけでなく、将来世代まで心豊かに暮らし続けられるまちを築くため、子どもや若者など新潟の将来を担う世代を大切にするとともに、これから生まれてくる子どもたちにも思いを巡らせながら、施策を推進します。」</p>
34	第3部会	政策7 福祉	政策7について、介護や看護の人材確保の状況を測る指標を追加すると良いのではないかと。	<p>本市では介護人材の確保・定着に取り組むため、「新潟市介護人材確保戦略」を策定しており、人材確保の状況を測る各種指標は同戦略の中で設定・把握してまいります。</p> <p>したがって、政策指標はより広義な指標として「住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができると思う高齢者の割合」を掲げますが、介護や看護の人材確保については、この政策指標を向上させる取組の一つとして注力していきます。</p>	